

# 累計400社以上が導入!

※2025年2月末時点の実績です

建設・不動産、ガス、IT、自動車、流通、金融  
など幅広い業種で採用いただいております。

本講座は、電力ビジネス全般にかかわる初学者向けの講座となっており、電力ビジネスに関する基礎を全6章・37講座で解説しています。電力自由化の歴史や脱炭素への動き、電力サプライチェーン、需要区分やロードカーブ、電気料金項目や実際の料金計算、契約方法や関連法令、電源調達や市場取引などの需給管理、再エネ・分散型電源までeラーニングで学べます。

電力ビジネスを行う際には、「電力」という特殊な商品を扱うための独自の業務やルールを理解する必要があります。これらの知識は新電力事業の基礎を学ぶことで修得でき、蓄電池や再エネなどの分散型電源を活用した様々な電力ビジネスを実施できるようになります。

電力ビジネスの基本を学べる講座として、これまでに400社以上に導入いただいております。

新電力(小売電気事業者)の方の受講はもちろんのこと、再エネや蓄電池などの電力ビジネスに従事・新規参入される企業、Slerなどの支援企業、自社に最適な電力調達を検討している企業にもおすすめの講座です。ぜひ、ご活用ください。

全6章・37講座 でプロが丁寧に解説します。

## 電力ビジネス特有の業務やルールを体系的に学べる講座をつくりました

私が15年以上前に電力業界に足を踏み入れた当時、電力ビジネスの基礎を学ぶことができる教材や講座はなく、とても苦労しました。そこで本講座は、電力ビジネスに参画する人たちが電力特有の業務やルールを体系的に学ぶことができるよう制作しました。

脱炭素の潮流を背景に電力ビジネスの領域が拡大する中、小売電気事業者や再エネ発電事業者、アグリゲーター、電力に関連する全てのビジネスパーソンにとって、「知識の礎」となるよう丁寧に解説します。

新たなビジネスモデルを生み出すためにも、基礎を正しく理解することが不可欠です。本講座の学習が受講者一人ひとりのキャリアアップ、ひいては事業の成長につながることを確信しています。

村谷 敬氏 株式会社AnPrenergy 代表取締役



管理機能が充実していて、研修結果も一目瞭然です



### ユーザー属性 / 管理機能

管理画面で講座の受講状況を個人単位で把握できます。履歴管理者は、コンテンツ視聴達成度(総視聴コンテンツ数×総視聴時間)で、一般ユーザーの達成率をグラフで視覚的に把握できる画面構成になっています。



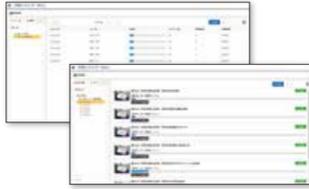
#### 履歴管理者

一般ユーザーの機能に加え、受講者全体の受講進捗が確認できます。



#### 一般ユーザー

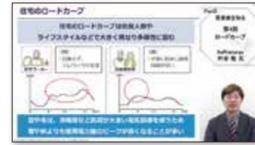
全37の講座+各講座に設定したテスト問題を受講。



▲ 管理画面



▲ 講義画面



### テスト問題

各講座ごとに、理解度チェックのテスト問題を用意しています。1講座に対し3~5問程度で、必ず理解してもらいたいポイントを網羅しています。なお、「動画をしっかり見ていれば満点が取れる」レベルに設定しています。

※画面はイメージです



### 料金メニュー

発行ID	一般価格	会員価格
5	¥275,000	¥220,000
30	¥1,485,000	¥990,000
60	¥2,640,000	¥1,320,000
100	¥3,850,000	¥1,650,000
150	¥4,950,000	¥2,475,000

※上記はすべて10%税込み価格です。  
 ※「会員価格」とは、新電力限定の会員組織「日経エネルギーNextビジネス会議」会員企業限定の価格です。  
 ※ご受講期間はご受講開始日から1年間となります。  
 ※お一人様1IDにてご利用いただけます。  
 ※発行は1IDより承ります。上記メニュー以外のID数をご希望の場合は、別途お見積りいたします。

### 推奨利用環境

本講座はインターネットを利用するサービスとなります。高速通信が可能な、電波環境の良い場所からアクセスください。回線状況によって切断が発生する場合があります。

お申し込み、無料トライアルのご相談はこちら

WEB [nbpm.jp/kisokoza](https://nbpm.jp/kisokoza)



株式会社 日経BPマーケティング WEB:nbpm.jp/NEN

NEN-D-KISOKOUZA2025

累計400社以上が導入!

電力ビジネスの基礎を学ぶなら、この講座



日経エネルギーNext 経営塾

# 電力ビジネス基礎講座

Ver.2

複雑な電力ビジネスを、  
全体像から実務レベルまで理解

電力ビジネスの基礎を、  
37本のオンライン講座で丁寧に解説

PC、スマホ、タブレット。  
いつでもどこでも受講可能

蓄電池

電源調達

再生可能エネルギー

需給管理

脱炭素

電気料金

日経BP



# 電力ビジネスの基礎を学ぶのに最適な内容、効率的な研修形態を実現

「電力自由化の歴史」、「電力ビジネスのプレイヤー解説」、「需要家区分から料金計算」、「営業実務」、「需給管理」、「再エネ・分散型電源」までカバーしています。

※Part3および4監修:久保欣也(株式会社日本省電 代表取締役社長)  
※電力ビジネスの心臓部「需給管理」が体系的に学べる「需給管理基礎講座」もございます。

## 電力ビジネス基礎講座のポイント

エネルギー専門メディア「日経エネルギーNext」が企画・監修	電力ビジネス特有の「押さえるべきポイント」を「背景・制度・実務」に分け解説	eラーニングだからいつでも何度でも繰り返し受講可能。管理画面で、研修結果も一目瞭然
		

## こんな方におすすめです

### 電力ビジネスに従事・新規参入する企業

蓄電池や再エネなどを活用した電力ビジネスの展開に必須の基礎知識が得られます

脱炭素を背景に拡大する蓄電池やEV(電気自動車)、再エネを活用した電力ビジネスを展開するには、電力システムの構造や関連規制、電源調達や市場取引を含めた需給管理などの正しい理解が欠かせません。運用を他社に委託したとしても、委託先のチェックが最低限できる知識が必要です。

### 新電力事業に従事・新規参入する企業

新卒・未経験者の人材育成に、必要な基礎知識を体系立てて学べます

競争力の高い人材の育成は、正しい基礎知識の習得から始まります。新卒・未経験者であっても、本講座で新電力事業に必要な基礎を体系立てて学習すれば、スムーズに実務に移行することができます。

### コンサルティングやSIerなど電力ビジネス支援企業

電力ビジネス向けのコンサルティングやシステム構築における、顧客支援のレベルアップに有効です

新たな電力ビジネスが続々と誕生しており、これを支えるITシステムなど関連サービスへのニーズが高まっています。顧客とのコミュニケーションを円滑に進め、ニーズを正確に把握するためには、電力特有の業務や関連法令、用語などへの理解が欠かせません。

### 「自社に最適な電力調達」を考える企業

再エネ電力の導入や電気料金の見直しなどに役立ちます

電力はどのように作り、運ばれてくるのか。工場で使う電力と家庭で使う電力は、何が違うのか。電気料金の構造や再エネ電力の種類には何があるのか。本講座で顧客側と電力会社の知識差を埋めることで、電力会社との交渉力を獲得でき、自社に最適な電力調達が実現できます。

日経エネルギーNext経営塾 電力ビジネス基礎講座ver.2 講座一覧

	章タイトル	各回	時間	講座名	講座概要
Part1	新電力事業の全体像	第1回	12:48	電力自由化とこれからの電力ビジネス	電力自由化の背景、地域独占と総括原価方式、東日本大震災によるパラダイムシフト、新規参入を促した2つの政策、脱炭素とエネルギー安全保障
		第2回	7:59	日本の電力小売り自由化	電力小売り自由化とは、自由化の意義、電力小売り全面自由化の経緯、電力+αのサービスの広がり、欧米諸国の電力小売り自由化、欧米で起きた業界再編
		第3回	9:12	電力ビジネスのプレイヤー	発電事業者の役割、小売電気事業者の役割、一般送配電事業者の役割、発電分離とは、関係機関の役割(資源エネルギー庁、電力・ガス取引監視等委員会、電力広域的運営推進機関)
		第4回	10:45	電力管区と連系線とFC	電力管区とは、10電力体制、東日本と西日本、連系線の役割、FCの役割、周波数とは、50Hzと60Hz
		第5回	7:29	電力サプライチェーン	発電所から需要家までの物理的な電力の流れ、系統とは、発電・送電・配電・小売りの役割、電圧の視点で見た電力サプライチェーン、発電所で昇圧する理由
		第6回	15:13	新電力ビジネスの業務	新電力ビジネスの概要、営業部門(顧客獲得)、契約部門(契約切り替え)、需給管理部門(電源調達、需給管理)、料金部門(料金請求)、CS部門(問い合わせ対応)、2つの戦略部門
		第7回	9:10	電力の品質	電力の品質とは、周波数の安定度、北海道胆振東部地震とブラックアウト、需給バランスと停電、電力の品質指標、新電力への契約切り替えと停電リスク
Part2	需要家を知る	第1回	4:21	需要家の定義	需要家とは、3つの需要家(電力ユーザー・契約者名義・建物)の意味、「需要家=建物=電力メーター」の原則とは、集合住宅は例外
		第2回	8:34	電力の単位	電力の大きさを表す「W」、使用電力量を表す「Wh」、電力ビジネスにおける「W」は上限値、単位は変わる(kW・kWh、MW・MWh、GW・GWh)、使用電力量の計算演習
		第3回	7:15	需要家区分	「特別高圧」「高圧」「低圧」の3分類と定義、特別高圧の需要家の特徴、高圧の需要家の特徴、低圧の需要家の特徴、需要家区分と電圧
		第4回	8:49	ロードカーブ	ロードカーブとは、ロードカーブの見方、典型的なロードカーブ(昼間型・朝夜型・24時間型)、住宅のロードカーブ
		第5回	7:40	負荷率	負荷率の定義、負荷率の計算方法、負荷率が低い需要家の典型例、負荷率が高い需要家の典型例、負荷率の高低を判断する目安
Part3	電気料金の仕組み	第1回	4:14	電気料金メニュー	電気料金メニューの主な料金項目(基本料金・電力量料金・燃料費調整額・再エネ賦課金)、料金項目の工夫(完全従量料金制・再エネ電力メニュー)、規制料金と自由料金
		第2回	11:29	基本料金(高圧・特別高圧)	基本料金とは、高圧・特別高圧の基本料金の計算式、契約電力とは、実量制と協議制、力率割引・割増とは、基本料金の計算演習
		第3回	13:16	基本料金(低圧)	低圧の基本料金の計算式、電灯契約と動力契約、「契約の大きさ」の名称・単位、アンペアブレーカー契約・主開閉器契約・負荷設備契約・実量制契約、力率割引・割増、基本料金の計算演習
		第4回	8:44	電力量料金	電力量料金とは、電力量料金の計算式、電力量料金の区分パターン(三段階料金制、時間帯別、季節別など)、電力量料金の計算演習
		第5回	4:56	燃料費調整額	燃料費調整額とは、燃料費調整額の導入経緯、燃料費調整額の計算式(プラス燃調、マイナス燃調)、電気料金への反映タイミング
		第6回	2:58	再エネ賦課金	再エネ賦課金とは、FIT・FIP制度の仕組みと再エネ賦課金、再エネ賦課金の計算式
		第7回	8:05	電気料金の計算(高圧・特別高圧)	請求書と料金内訳書とは、請求書の読み方、料金内訳書の読み方、電気料金の計算演習

## 約300分収録の充実したコンテンツ

	章タイトル	各回	時間	講座名	講座概要
Part3	電気料金の仕組み	第8回	4:33	電気料金の計算(低圧)	検針票の読み方、電気料金の計算演習
		第9回	4:00	託送料金	託送料金とは、電力サプライチェーンと託送料金単価の関係、託送料金の内訳(離島ユニバーサルサービス調整額・電源開発促進税など)
		第10回	3:39	容量拠出金	容量拠出金とは、容量市場が導入された背景、容量市場の仕組み
Part4	新電力営業のポイント	第1回	7:03	営業・契約フローの全体像	料金メニューの提案パターンは2通り、個別見積もり型の契約フロー、メニュー掲載型の契約フロー
		第2回	4:40	需要家へのアプローチ手法	需要家への3つのアプローチ方法(直接訪問・電話・Webサイト)、直接営業と間接営業、間接営業のパターン(媒介・代理・取次)
		第3回	10:03	新電力が守るべき法律とガイドライン	電気事業法とは、小売営業ガイドラインとは、「望ましい行為」と「問題となる行為」、消費者保護に関する3つの法律(消費者契約法、景品表示法、特定商取引法)、クーリングオフ
		第4回	4:45	需要家との契約方法	新電力の一般的な契約方法、約款とは、電気需給契約とは、電気需給約款の記載内容、契約書を交わすケース
Part5	新電力の電源調達	第1回	4:55	電源調達の概要	電源調達とは、主な電源調達方法(自社発電所、発電事業者、他の小売電気事業者、卸電力市場)、需要家からの調達(リソースアグリゲーター)、電気料金の構造と電源調達費用、電源調達の重要性
		第2回	12:40	発電の種類と仕組み	発電の種類、発電の原理、各発電手法の仕組み・1日の出力イメージ・長所と課題(原子力発電、火力発電、バイオマス発電、地熱発電、水力発電、風力発電、太陽光発電)
		第3回	7:55	卸電力市場とJEPX	卸電力市場とは、卸電力市場の種類、JEPX(日本卸電力取引所)開設の経緯、JEPXの役割、JEPXの取引概要
		第4回	14:11	約定価格	JEPXスポット市場の取引ルール、価格決定メカニズム、JEPXが公開している取引情報の読み方、JEPX約定価格を決定する要素、JEPX約定価格の高騰、2020年度冬季の市場高騰とその理由、市場高騰を前提とした体制の構築
		第5回	5:41	需給管理概論	同時同量とは、需給管理とは、広域機関による同時同量の確認(計画提出)、需給管理部門の業務の概要(電源調達業務と需給管理オペレーション)
		第6回	11:24	需給管理オペレーション	時間軸と需給管理オペレーション、需給管理オペレーションの業務内容(需要予測、需要計画の作成、調達計画の作成準備、JEPX取引、調達計画の作成、計画提出)
Part6	再エネ・分散型電源と新電力	第1回	6:17	再エネ・分散型電源の概要	大規模集中型の電力システムとは、分散型の電力システムとは、再エネなど分散型電源が広がった背景(脱炭素化の潮流、テクノロジーの進化)
		第2回	9:56	再生可能エネルギー	日本の再エネ導入の経緯、FIT制度の仕組み、FITによる再エネ導入量の増加、FIT買取価格の推移、非FITとは、諸外国の再エネ導入状況
		第3回	8:04	再エネ電力の提供方法	再エネ電力とは、環境価値とは、再エネ電力証書の種類、需要家の再エネ電力調達方法(再エネ電力メニューの利用、証書を自社購入、自家消費、コーポレートPPA)、再エネ電力の追加性とは
		第4回	10:22	分散型電源の活用方法	各種分散型電源のメリットと特徴(コジェネ、太陽光発電、蓄電池、EV、デマンドレスポンス)、リソースアグリゲーターとは、分散型電源の活用事例(太陽光発電による電力の買い取り、蓄電池の充放電制御、DR)
		第5回	9:36	時代の変化と新電力ビジネス	電力は経済と生活を支える重要なインフラ、どんな「電力」が求められているか、分散型電源や市場連動料金など新しい電力サービス、新電力の成長・成功の条件、基礎知識習得後のキャリアイメージ